

May 14, 2019

【前日の為替概況】ドル円、中国の報復関税措置を嫌気して 109.02 円まで下落

13日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反落。終値は109.30円と前営業日NY終値(109.95円)と比べて65銭程度のドル安水準。中国政府は600億ドル分の米国製品について関税を5-25%に引き上げると発表。関税の応酬を巡る米中の衝突が激化する中、ダウ平均が一時720ドル近く下落すると投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ドル売りが加速し、109.02円まで下落した。ムニューシン米財務長官やトランプ米大統領の発言が伝わると、ショートカバーが強まり109.39円付近まで下げ幅を縮めた。

ムニューシン米財務長官は「米中の通商協議はまだ続いている」「訪中の時期は今調整中」と発言。トランプ米大統領が6月に日本で開催されるG20で、習近平・中国国家主席やプーチン・ロシア大統領と会談する方針を表明し、約3250億ドルの中国製品に対する追加関税は「まだ決まっていない」と述べた。

ユーロドルは3営業日ぶりに反落。終値は1.1222ドルと前営業日NY終値(1.1233ドル)と比べて0.0011ドル程度のユーロ安水準だった。米中貿易摩擦の激化懸念から米10年債利回りが一時2.3874%前後まで下落したことでユーロ買い・ドル売りが先行し、1.1263ドルまで上昇した。買い一巡後はユーロ円の下落につれた売りなどが出たことで1.1222ドルまで反落した。

ユーロ円は反落。終値は122.68円と前営業日NY終値(123.52円)と比べて84銭程度のユーロ安水準。米国株が大幅反落し、日経平均先物が400円下げると、投資家がリスク・オフの動きを強め円買い・ユーロ売りが優勢となり、122.55円まで下落した。

南アフリカランドは軟調。ドルランドは一時14.3822ランド、ランド円は7.59円までランド安に振れた。8日に投票が行われた南アフリカ総選挙で、選挙管理委員会が11日に発表した最終結果によると、与党アフリカ民族会議(ANC)は230議席を確保したものの、前回14年の選挙での獲得議席から19議席減らし、アパルトヘイト(人種隔離)政策の撤廃後、全人種が参加する現行の制度では最低となった。ラマポーザ大統領は議会で再選される見通しだが、国内情勢は依然として様々な問題を抱えており、ランドの上値は重かった。欧米株価の下落で投資家がリスク回避姿勢を強めていることもランド売りを誘った。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商摩擦、自動車関税や為替報告書警戒で続落か

本日の東京市場のドル円は、米中通商摩擦の激化、トランプ米大統領の対中追加関税第4弾や自動車関税の決断、為替政策報告書、朝鮮半島や中東の地政学リスクなどへの警戒感から続落が予想される。

トランプ米政権は、先週10日に中国からの輸入品2000億ドル相当に対する関税率を10%から25%へ引き上げ(対中制裁関税第3弾)、第4弾として3000億ドル相当の中国製品に対しても25%の関税を課すと発表した。中国は報復措置として、対米輸入600億ドルの関税率を5-25%へ引き上げると発表し、米国産農産物や航空機の輸入を控え、保有米国債の売却の可能性を警告した。

【米国の対中制裁関税】・・・【中国の報復関税】

- ・第1弾：340億ドル(25%)・・・340億ドル(25%)
- ・第2弾：160億ドル(25%)・・・160億ドル(25%)
- ・第3弾：2000億ドル(10%⇒25%)・・・600億ドル(5・10%⇒5・25%)
- ・第4弾：3000億ドル(25%) ※発動示唆

米中貿易戦争への警戒感から、米国の景気減速懸念が高まっていることで、トランプ米政権による連邦準備制度理事会(FRB)への利下げ圧力が強まる可能性も、ドルの上値を抑える要因となる。

日米通商協議に関しては、今週末5月18日までに、トランプ米大統領が、「通商拡大法32条」に基づく安全保障の観点から、輸入自動車への関税適用の是非を判断する予定となっている。4月の日米首脳会談では、本格的な貿易交渉は7月の参議院選挙後に先送りされた模様で、自動車関税の適用判断も180日程度の先送りされる可能性が報じられているものの、米中通商摩擦の激化を受けて要警戒か。

毎年4月中旬に発表されている米財務省の為替報告書は、米中通商協議に合わせて発表が先送りされており、今週の発表に要警戒となる。昨年4月の為替報告書では、「円は過去20年の平均よりも約25%安い」と指摘されており、対日自動車関税25%や、「為替条項」に絡んで要警戒となる。

また、北朝鮮が2017年以来となる短距離ミサイルの発射実験を再開したこと、イランによる中東の米軍基地への攻撃の可能性を受けて、トランプ米政権が空母打撃群をホルムズ海峡に派遣したことも、地政学リスク回避の円買い要因となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◎ 3月国際収支速報
 - ◇ 経常収支 (予想: 季節調整前 3兆 1613 億円の黒字 / 季節調整済 1兆 7197 億円の黒字)
 - ◎ 貿易収支 (予想: 8395 億円の黒字)
- 14:00 ◇ 4月景気ウォッチャー調査 (予想: 現状判断指数 45.5 / 先行き判断指数 48.0)

<海外>

- 10:30 ◇ 4月豪 NAB 企業景況感指数
- 15:00 ◎ 4月独消費者物価指数 (CPI) 改定値 (予想: 前月比 1.0% / 前年比 2.0%)
- 15:00 ◇ 4月独卸売物価指数 (WPI)
- 15:30 ◇ 4月スイス生産者輸入価格 (予想: 前月比 0.2%)
- 15:30 ◎ 4月インド WPI (予想: 前年比 3.07%)
- 16:00 ◇ 3月トルコ鉱工業生産 (予想: 前月比 0.9%)
- 16:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 16:15 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 16:30 ◎ 4月スウェーデン CPI (予想: 前月比 0.6% / 前年比 2.1%)
 - コア指数 (予想: 前月比 0.5% / 前年比 1.9%)
- 17:30 ◎ 4月英雇用統計 (失業率 / 失業保険申請件数推移)
- 17:30 ◎ 1-3月英失業率 (ILO方式、予想: 3.9%)
- 18:00 ◎ 3月ユーロ圏鉱工業生産 (予想: 前月比 ▲0.3% / 前年比 ▲0.8%)
- 18:00 ◎ 5月独 ZEW 景況感指数 (予想: 5.0)
- 18:00 ◎ 5月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 21:30 ◇ 4月米輸入物価指数 (予想: 前月比 0.7%)
- 15日 01:45 ◎ ジョージ米カンザスシティ連銀総裁、講演
- 米露外相会談 (ソチ)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

13 日 08:38 トランプ米大統領

「中国は寝ぼけたジョー・バイデン(前副大統領・民主党大統領候補)や、他のやつらが 2020 年に選挙で選ばれることを夢見ている。彼らは米国をだますのが大好きだ」

13 日 19:48

「中国は報復をするべきではない」

14 日 03:26

「習近平・中国国家主席とプーチン・ロシア大統領と G20 で会うつもり」

「3250 億ドルの中国製品に対する追加関税についてはまだ決まっていない」

13 日 19:35 複数トルコ経済当局筋

「(中央銀行の法定準備金 400 億リラ)今年の中央政府予算に移すことが望ましい」

「目的は財務改善や強化」

13 日 22:14 クラリダ米連邦準備理事会 (FRB) 副議長

「経済は 2 つの目標もしくはそれに近い」

「インフレは目標の 2% に近づいている」

14 日 00:16 ローゼングレン米ボストン連銀総裁

「米経済は貿易摩擦を乗り切れる」

「長期の高関税は成長を圧迫する」

「現在の米金融政策は緩和的」

「インフレの高まりがほとんど確認されていない」

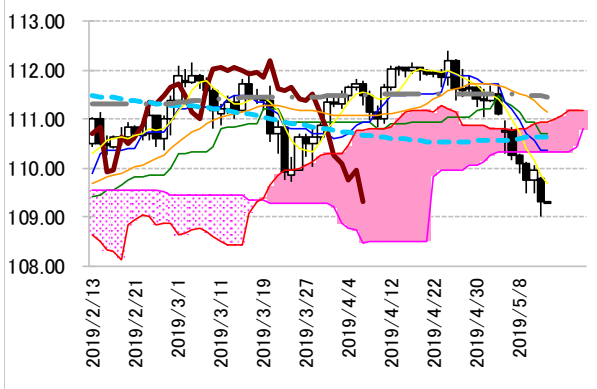
14 日 02:46 ムニューシン米財務長官

「米中の通商協議、まだ続いている」

「訪中の時期は今調整中」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

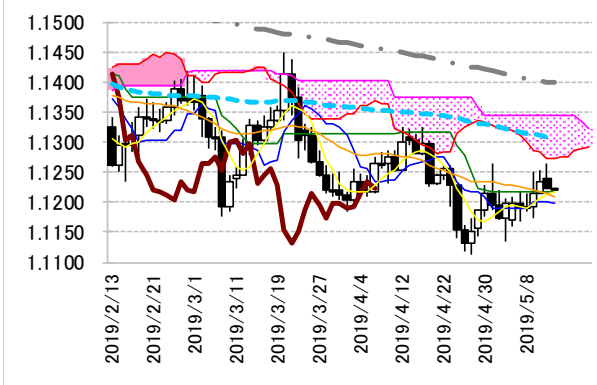


<ドル円＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下抜けたことで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。ダブル・トップ（112.14円・112.40円）形成後の窓（3日安値111.07円・6日高値110.96円）空けで下落トレンドの可能性が高まりつつある。

本日は、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	110.71(日足一目均衡表・基準線)
レジスタンス 1	110.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	109.30
サポート 1	108.50(1/31 安値)
サポート 2	107.77(1/10 安値)

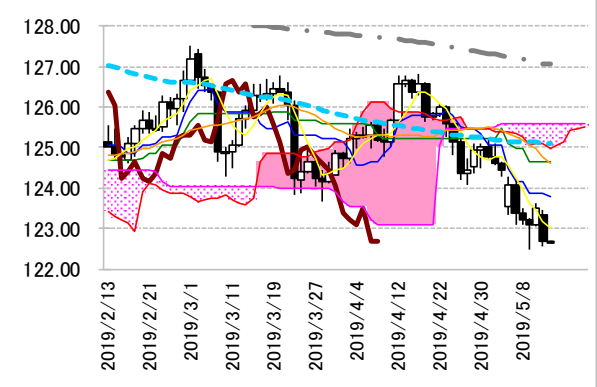


<ユーロドル＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。3手連続陽線で反発基調にあったものの、高値圏でのカブセ線で反落している。

本日は、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1273(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1222
サポート 1	1.1135(5/3 安値)

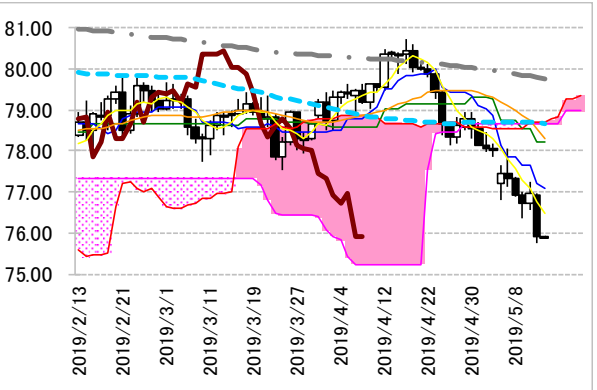


<ユーロ円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	123.81(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	122.68
サポート 1	121.36(5/9-10の上昇幅の下方倍返し)



<豪ドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	77.10(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	75.91
サポート 1	75.24(1/4 安値)

